



2015年
6/15
No.1038

広報あやせ

今月の納税など
一納期限は6月30日(火)



■市県民税(第1期)
■国民健康保険税(第1期)
納税は口座振替が便利です。手続きは通帳と通帳印を持参し、金融機関窓口で。☎0467・70・5612。

戦後70年

平和の大切さを次世代に



29日から平和展を開催

戦争被害の実相を伝え、平和について考える機会となるよう、平和展を開催します。

今年も、多くの犠牲者を出した第二次世界大戦の終結から70年目となります。戦争を体験した方の高齢化が進む中で、戦争の実態、平和の大切さを次世代に語り継ぐことが重要になってきます。

市では、核兵器の廃絶と恒久的な世界平和を願い、昭和59年に核兵器廃絶平和都市を宣言し、平和展や映画会、小学生広島派遣などの事業を通して平和思想の普及に努めてきました。

過去の事実を目に向け、平和に関心を持つことは、戦争を知らない世代にとっても、命の大切さや人の痛み、悲しみを知る上で大切なことです。

この機会に、平和について、考えてみてはいかがでしょうか。

▼日時 6月29日(月)～7月5日(日)9時～17時
▼場所 市役所7階市民展示場

ホール▼内容▽写真パネルの展示▽市民から提供された、戦時中に使っていた物品や戦没者の遺品などの展示▽戦争体験講話 7月4日(土)11時30分から(30分程度)▽記録映像やアニメの上映▽折り鶴作成コーナー
▼協力 展示品提供者、市遺族会、ユーコープ市工リア会
▼問い合わせ 市民課 ☎70・56005



▶ 昨年の平和展の様子



▲軍服(展示例)



▲海軍士官・正帽正肩章(展示例)



▶ トラの模様の千人針(展示例)

綾瀬市核兵器廃絶平和都市宣言

核兵器を廃絶し、世界恒久平和を実現することは、世界唯一の核被爆国日本の全国民共通の願いである。
しかしながら、地球上では今なお核兵器の増強が進められており、世界の平和と人類の生存に深刻な脅威を与えている。
綾瀬市は、国是である非核三原則の順守と、すべての核兵器の廃絶を希求し、恒久的な世界平和を願い、核兵器廃絶平和都市となることを宣言する。
昭和59年12月19日 綾瀬市

悲劇を繰り返さないため 実態を知ってほしい

市遺族会会長 濱田 徹さん(76歳・綾西)



私は、鹿児島県阿久根市出身で6歳のときに戦争で父を亡くしました。父は、軍に召集されるまで、製糸工場で働き、家族を支えてくれていました。
台湾沖バシー海峡での戦死の報告を受けたときには、人前で悲しむことはできませんでしたが、父を亡くした家族の悲しみは、はかり知れませんでした。
父を亡くした戦後の生活では、母が建設現場で働きつつ、早朝に仕入れた魚を農作物と物々交換したり、豚を育てて売ったりと、苦労したのを覚えています。私も高校生になると、家計のためにアルバイトをしました。

何より苦労したのは、就職やアパートの契約でした。やはり、両親とも健在な人の方が有利だったと記憶しています。
就職を機に上京し、しばらくして2人の妹や母が私を頼って、それぞれ上京。家族4人が横浜で暮らした時期もあります。このとき、ひとときでしたが、心から安心できたことが印象に残っています。
皆さんも身近な人を突然亡くす悲しみやその後の苦労を想像してみてください。戦争は、大切な人の命を奪いかねません。二度とこのような悲劇を繰り返してはいけなと思います。これまで、戦争を体験した世代の方たちは、戦時中や戦後のことを、思い出したくないためか、多くを語らなかつたように感じます。最近になって、若い方たちが戦争のことを知る機会が増えたようで、平和展もその一つです。多くの方に、機会を捉えて戦争の実態を知ってもらい、平和について考えてほしいです。

届け平和の願い 折り鶴を広島へ



小学生広島派遣事業「あやせっ子平和学習生」の児童20人が、平和への願いを込めて、折り鶴を広島平和記念公園へ届けます。
広島へ届ける折り鶴の作成コーナーを、6月15日(月)～7月5日(日)市役所1階市民ホールに設けていますので、ご協力ください。

